

広報 Kouhou Wakasa わかさ

1²⁰²²
月号
No.201



[特集] 02

災害から わが町を守る 若狭町の消防団

06 ドキ! DOKI! 情報局

08 情報BOX



特集

災害から わが町

消防団の歴史

江戸時代～

ほとんどが木造建築で家々が密集する江戸の町では、一度火事が起きると甚大な被害をもたらしていました。

そのため、城下町では町火消「いろは48組」が設置され消防組織が誕生しました。これが今日の消防団の前身と言われています。(しかし、村落部には町火消のような組織的なものはありませんでした。)

当時はポンプや消火栓などもない時代であったため、消火活動の中心は木槌や斧などで、火事場周辺の建物を破壊して延焼を防ぐ破壊消火が基本でした。

明治時代～大正時代

明治時代に入り、町火消は警察組織の一部となり、府県知事の管轄として全国的な統一が図られました。その後、警察署長等の積極的な働きかけなどにより、大正時代には飛躍的にその数が増大しました。

昭和時代～現在

昭和22年に公布された消防組織法により、警察組織から分離独立し、消防は市町村の責務となりました。現在では、全国に消防団は約2,200団あり、80万人以上の消防団員が活躍しています。(令和2年現在)

このように、消防団は江戸時代に自治組織として発足して以来、様々な変遷を経て今日に至っています。

三方消防団

現在 230名



団長
坪田 安弘

三方消防団は、皆さまに育てていただいた地域の消防団です。私たち消防団員は「自分たちの地域は自分たちで守る」という郷土愛の精神で、住民の安全の確保に更なる役割を果たしていきたいと考えております。



副団長
森 勝彦

社会情勢が大きく変わる中、新しいスタイルの消防団を作るとともに伝統も重視し、消防団活動を通じて元気な町づくりに協力したいと思います。



本部分団
分団長以下17名 全域
分団長 坪田 達也

団員は全員17名の三方区民で構成されており、消防団活動に対する意識が高く、日々訓練を重ねています。今後も諸先輩方が築き上げてこられた歴史に誇りを持ち、消防署・区民・家族の皆さまのご協力のもと消防団活動に邁進していきたいと思っています。



第1分団
分団長以下68名 三方地区
分団長 久保 博之

地域の方の協力のもとに消防団活動を行えることに感謝をし、逆に消防団活動により、安心・安全を感じてもらえることを心掛けて活動しています。

上中消防団

現在 148名



団長
岡本 宏一

「自分たちの地域は、自分たちで守る」、これは消防団の根本精神です。災害が多様化する中、地域防災力の充実強化の要は、消防団にあります。上中消防団148名がいざという時に動き、地域を守り住民を助けます。



副団長
武田 昌樹

消火活動、水防活動や災害時の対応、更には地域防災のリーダーとして、住民の安全安心を守ります。



特別機動分団
分団長以下12名 全域
分団長 宮田 勉

少人数でも安全・迅速な消火活動が行えるよう訓練に取り組み、消防活動に対しご理解を頂いています。地域の皆さま、家族への感謝を忘れずに活動をしていきたいと思っています。



第1分団
分団長以下28名 鳥羽地区
分団長 藤川 貴浩

過去に災害を経験している分団だからこそ、団員相互の団結力や絆を大切にし、地域の安全・安心を守っていききたいと思います。

を守る 若狭町の消防団

消防団とは

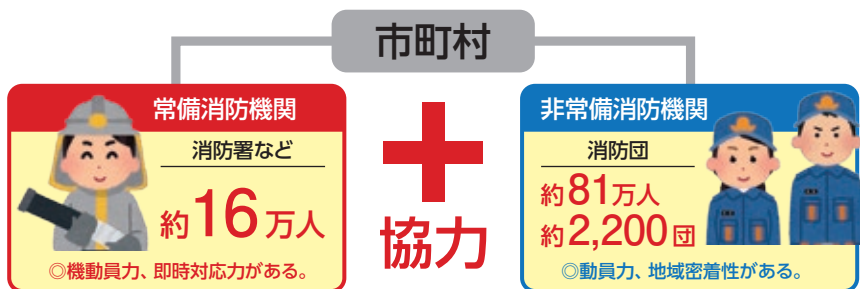
消防団は、消防組織法に基づき、全国の各市町村に設置されている組織で、消火・救助活動を行う非常勤特別職の地方公務員です。

団員はその地域住民であることが多く、地元の事情等に通じ地域に密着した存在であり、「自らの地域は自らが守る」という精神に基づき、消防防災活動を行っています。

消防団員と消防職員の違い

消防団員は、他に本業を持ちながら、災害発生時には自宅や職場から現場へ駆けつけ、消火活動等を行います。

消防職員は、専任の職員として消防署に勤務し、災害が発生すれば消防署から現場へいち早く駆けつける地方公務員です。



第2分団
分団長以下72名 西田地区
分団長 大下 和宏

先日、当区内での無火災表彰を頂きました。現在はコロナ禍ということもあり、訓練などの活動が難しい部分もありますが、今後も地域の方々と協力しながら防火、防災に努めていきます。



第3分団
分団長以下63名 三十三地区
分団長 千田 邦夫

地域の皆さま、家族の協力ならびに消防署員のサポートをいただきながら消防団活動に邁進し、万一の時には迅速な対応で地域の生活、財産を守っていただけるよう努めてまいります。



女性活動班
班長以下8名 全域
班長 島津 みつ子

私たち女性活動班は、主に火災予防や救急に関する広報活動を行っています。消防団と地域がより良い関係になるように女性活動班一同頑張りたいと思います。



第2分団
分団長以下20名 瓜生地区
分団長 坂本 智重

歴史ある若狭を守り、代々受け継がれた消防団を、若者に興味を持ってもらい、次世代の消防団員の育成に力を入れていきます。



第3分団
分団長以下16名 熊川地区
分団長 木下 順市

団員には家族との大切な時間をお借りし協力していただいていることに感謝し、地域の皆さまとの絆を深め団員と一致団結していきたいと思っています。



第4分団
分団長以下25名 三宅地区
分団長 辻本 浩之

諸先輩方が築いてきた第4分団の伝統や技術を受け継ぎ、地域の信頼や団員同士の絆を大切に、地域防災の要となるよう一致団結し活動していきたいと思っています。



第5分団
分団長以下22名 野木地区
分団長 橋本 哲哉

地域防災の要である消防団として、有事に備え訓練や講習に積極的に参加し、地域を守る意識を高く持ち続け日々精進して参ります。



機能別分団
分団長以下23名 全域
分団長 三木 章史

2019年4月に発足した機能別分団は、大規模災害時における対応と、予防啓発活動を主としています。経験豊富な消防団OBや地域で活躍する女性で構成し有事の際の住民の安心安全を守ります。

消防団の主な活動



…… 平常時の活動 ……

出初式

消防団員による一斉放水や分列行進を行い、消防団員の士気と市民の防火意識の高揚を図るため、毎年1月初旬に実施しています。

各種訓練

火災現場を想定した放水訓練などを行っています。

地区の防災訓練指導

地区の防災訓練に赴き、町民に対し消火器の取扱いや消火栓からの放水方法など防火指導を行っています。

防火啓発活動

各種イベントや大型店舗などで、防火啓発グッズやチラシを配布し、火の取扱いや防火について広報を行い、町民の防火意識向上に努めています。

…… 災害時の活動 ……

消火活動

火災発生時には、自宅や職場から現場に駆けつけ、消火活動や後方支援などを行います。

救助活動

地域をよく知る立場から、他機関などとも連携をとり、救助活動や避難誘導を行います。

水防活動

台風や豪雨などの風水害の際は、河川水位の警戒や土のう積み、浸水防止など迅速に対応します。



質問コーナー



??

Q1

どんな人が
入団できる?

原則、若狭町に居住
または勤務する
18歳以上の方が対象です。

Q2

消防団って
ボランティアなの?

身分は非常勤特別職の
地方公務員となり、条例で
定める報酬が支給されます。
また、制服や活動服一式が
貸与されます。

??



Q3

補償はあるの?

災害現場で危険な活動に
従事することから、
活動中に負傷した場合は、
公務災害補償が
受けられます。

??



消防団員募集

消防団 入って広がる 防災の輪



新入団員インタビュー



井上 瑞奈 団員

地域のために何か役に
立ちたいと思っていた時、知り
合いから紹介してもらい、入
団を決めました。広報活動や
訓練など地域のために積極
的に活動に参加していきたい
です。



宇野 夏子 団員

地域のために少しでも役に
立てる事があればと思ってい
たところ、女性消防団がある
のを知り、入団させていただ
きました。できるだけ活動に
参加し、地域の皆さんの力に
なれるよう頑張ります。

各消防団
問い合わせ先

三方消防団事務局（三方消防署内）若狭町北前川17号1番地 TEL 0770-45-0119
上中消防団事務局（上中分署内）若狭町上吉田第5号31番地2 TEL 0770-62-0119

今川裕代&高井敏弘デュオコンサート withリトルピアニスト～受け継ぐ未来への夢～



©Arei Komatsubara



©松浦武臣(Virtuoso.Tokyo)

福井県出身世界的ピアニスト今川裕代とNHK交響楽団1stヴァイオリニスト高井敏弘によるコンサートです。

1部

未来を夢見る子どもたちを育てるアンサンブルコンサート
高井敏弘と7名のリトルピアニストが共演します。

2部

今川裕代&高井敏弘デュオコンサート

開催日／ **令和4年3月6日(日)** 開場／13:30 開演／14:00

会場／パレア若狭音楽ホール

料金／一般:1,500円 学生:500円(高校生以下)

チケット発売日／**12月11日(土)**

その他／全席指定、未就学児入場不可

主催／若狭町 後援／福井新聞社

協賛／(公財) げんでんふれあい福井財団

案内

チケット

パレア文化課 Tel:0770-62-2506(チケットカウンター)

コメント

"パレア若狭から巣立つピアニストを育てたい"という想いから立案したリトルピアニストシリーズ。始めてみれば、こちらが学ばされ、勇気づけられることの連続でした。

プロ奏者と共演することで自信を持ち、逞しく成長していく姿や、回を重ねる度にピアノが人生の軸になりつつある姿に接すると、頼もしさ以上に感動すら覚えます。

今回お呼びするN響ヴァイオリン奏者の高井敏弘さんも共演を心から楽しみにしています。

奏者はホールや聴衆に育てられると身に染みている今、次世代を担うリトルピアニストを故郷の皆さまと一緒に見守り、ずっと応援していきたいと思います。

今川裕代

リトルピアニスト



中島 明日花



高木 結菜



奥東 愛未



松並 寧音



橋本 亜侑



北瀬 遥夏



寺井 愛葉

リブラ 若狭 講堂

まちかどコンサートinリブラ若狭 “次代を担う若手演奏家による室内楽”



仲谷理沙(ピアノ)



片山奈々愛(サクソフォン)



小川卓朗(サクソフォン)

■福井ゆかりの多彩な音楽家たちが、あなたの街に音楽をお届けする「まちかどコンサート」

ピアニスト 仲谷理沙と2人のサクソフォン奏者が送るアンサンブルをお楽しみください。

日時／ **令和4年2月13日(日)**

開場／13:30 開演／14:00

場所／リブラ若狭 講堂(若狭町中央1-2)

料金／無料 定員／60名*

主催／福井県、(公財) 福井県文化振興事業団

※チケットや整理券の発行はありませんが、鑑賞優先予約ができます。



ご予約はこちらから

案内

(公財) 福井県文化振興事業団 Tel:0776-38-8289

若狭町事業所PR展

■若狭町には世界に通じる製品を作る事業所がたくさんあります。町内事業所の特徴や仕事内容などをパネルや製品で紹介します。

展示期間／

令和4年1月8日(土)～10日(月・祝)

時間／9:00～20:00

主催／若狭町次世代定住促進協議会



案内 政策推進課 Tel:0770-45-9112

若狭三方縄文博物館

冬季企画展

藤井遺跡 縄文・弥生の若狭をリードした遺跡

■若狭町藤井遺跡は、縄文時代中後期と弥生時代中後期～古墳時代初頭を中心とした遺跡です。大量の土器・石器類が出土した遺跡で、いずれの時期も若狭地方の拠点的な集落でした。当企画展では、縄文・弥生の当地方の暮らしをリードしたこの遺跡を紹介します。



開催日／

令和4年1月29日(土)～3月21日(月・祝)

時間／9:00～17:00

※開期中の休館日は毎週火曜日

会場／若狭三方縄文博物館

主な展示／藤井遺跡の縄文土器、藤井遺跡の弥生土器、さまざまな石器

案内 歴史文化課(縄文博物館内) Tel:0770-45-2270

フィットネスパレア若狭バーチャルレッスン導入

■2022年1月よりフィットネススタジオにてバーチャルフィットネスを導入いたします！



年齢問わずだれでも気軽に参加でき、映像に集中できるのが魅力の一つです。

メガダンス(ダンス系)やファイドウ(格闘技系)と

いった燃焼系レッスンはもちろん、ヨガやオキシジェノといった調整系などバリエーション豊富な内容となっております。

そして何より今、流行りのユーバウンド(トランポリン系)をぜひ皆さまご体験ください♪

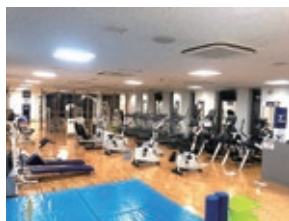


スタジオとトレーニングジムを合わせた料金設定となっており、どちらも使用できるのでお得感間違いなし!!

トレーニングジムでは常時ミズノトレーナーがおり、マシンの使い方など丁寧にご案内しますので運動が苦手な方や初心者の方でも安心です。また会員様には運動プログラム作成とサポートの特典がございます♪

レッスンスケジュールや
利用料金につきましては、

こちらの
ホームページより
ご覧ください。



案内 ミズノスポーツサービス株式会社 フィットネスパレア若狭 Tel:0770-62-2507

にじいろのおはなし会

■図書館リブラ館こどもひろばにて、毎月第4土曜日14時に紙芝居をします。参加無料で、赤ちゃんから参加できます。



開催日／令和4年1月29日(土)

時間／14:00～

場所／図書館リブラ館 こどもひろば

内容／ボランティア「にじの会」さんによる紙芝居
料金／無料

図書館からのオススメ

『100にんのサンタクロース』

谷口智則／著

ここは100にんのサンタクロースがすむ街。サンタクロースたちは、1年間かけて「クリスマス」にむけて準備をしています。プレゼントを配るおうちの地図をつくったり、ツリーや野菜や果物を育てたり、素敵な星空をつくる練習をしたりと大忙し。みんなが楽しみにしているクリスマスの日、サンタさんにとっても特別な日でした。それはプレゼントを配り終わった後のサンタさんだけのお楽しみがあるから！



写真でたどる

No.17

若狭町の歴史遺産

じゅう ぜん

もり

十善の森古墳

十善の森古墳は、天徳寺の国道27号沿いに所在しており、古墳時代後期初頭(6世紀)の前方後円墳です。十善の森古墳は、首長墓の墓域が脇袋から離れた最初の王様の古墳です。本古墳の後円部には、九州系の横穴式石室があります。石室は、過去に発掘調査が実施されており、石室内から朝鮮半島製の馬具やアクセサリが見つかっています。出土品は若狭町歴史文化館に展示されています。

